



2020年10月30日

各位

会社名 株式会社ハチバン
 代表者名 代表取締役社長 長丸 昌功
 (コード番号: 9950 JASDAQ)
 問合せ先 取締役執行役員管理部長 舟山 忠彦
 (TEL 076-292-0888)

特別損失の計上および第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異
 ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期連結累計期間において減損損失を計上するとともに、2020年7月30日に公表しました2021年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、併せて、2021年3月期通期連結業績予想を修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2021年3月期第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、将来的に収益性が低下し継続的な利益確保が困難であると判断した3店舗および閉店した1店舗について、減損損失148百万円を特別損失に計上いたしました。

併せて、店舗閉店に伴い発生する損失に備え、合理的に見込まれる中途解約違約金等の閉店関連損失見込額について、店舗閉鎖損失引当金繰入額23百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異について

(1) 2021年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異

(2020年3月21日～2020年9月20日)

	営業収益	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,800	2,500	△450	△360	△260	△87.97
実績値 (B)	2,699	2,470	△460	△355	△379	△129.88
増減額 (B-A)	△101	△30	△10	5	△119	—
増減率 (%)	△3.6	△1.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	4,359	4,031	251	334	190	64.17

(2) 差異の理由

当社事業の最盛期である夏季において、県境を跨ぐ不要不急の行動制限や外出自粛が長引きました。感染拡大防止対策を講じて、テイクアウト商品にも注力しながら営業活動を継続してまいりましたが、観光客・帰省者が激減するなど、8～9月に想定していた店舗売上は各業態ともに当初想定を下回りました。

このような状況のもと、2021年3月期第2四半期連結決算において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、将来的に収益性が低下し継続的な利益確保が困難であると判断した3店舗について、減損損失138百万円、店舗閉鎖損失引当繰入額23百万円を特別損失に計上いたしました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は379百万円と予想値を大きく下回りました。

3. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年3月21日～2021年3月20日)

	営業収益	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,100	5,600	△710	△620	△430	△145.48
今回発表予想 (B)	5,600	5,150	△850	△750	△820	△277.43
増減額 (B-A)	△500	△450	△140	△130	△390	—
増減率 (%)	△8.2	△8.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	8,268	7,650	202	290	108	36.64

(2) 修正の理由

8番ら一めん店舗の末端売上高は、前年比 90%程度と回復基調にあるものの、当初想定していた水準への回復は難しいと判断いたしました。居酒屋業態を主とする和食直営店舗では2店舗を閉店したほか、宴会需要の回復は鈍く、当初想定していた忘新年会シーズンの需要は下回ると判断いたしました。

海外事業においては、回復基調にあると見込んでおりましたが、タイでの反政府デモの影響を受け、営業収益は当初予想を下回る見通しであります。

また、10月30日付「本社移転の見直しに関するお知らせ」のとおり、業績の回復を最優先課題とするため、本社移転は見直しにいたしました。これに伴う業績に与える影響は軽微であります。

2021年3月期の通期連結業績予想については、上述の見通しに加え、閉店店舗の原状回復費用等33百万円を見込み、当第2四半期累計期間の業績予想との差異を加味して、通期連結業績予想を修正いたしました。

※上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. 配当および株主優待制度について

2021年3月期の中間配当および期末配当予想、ならびに株主優待制度の変更はありません。

<参考：末端売上高実績の既存店前年同月比>

業 態	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度
8番ら一めん店舗	64.6%	54.6%	81.9%	82.0%	74.9%	87.0%	89.7%
和食店舗	30.1	8.2	35.4	50.0	43.8	44.2	61.9
その他業態店舗	52.4	25.7	66.6	78.7	65.2	60.8	78.1

以 上